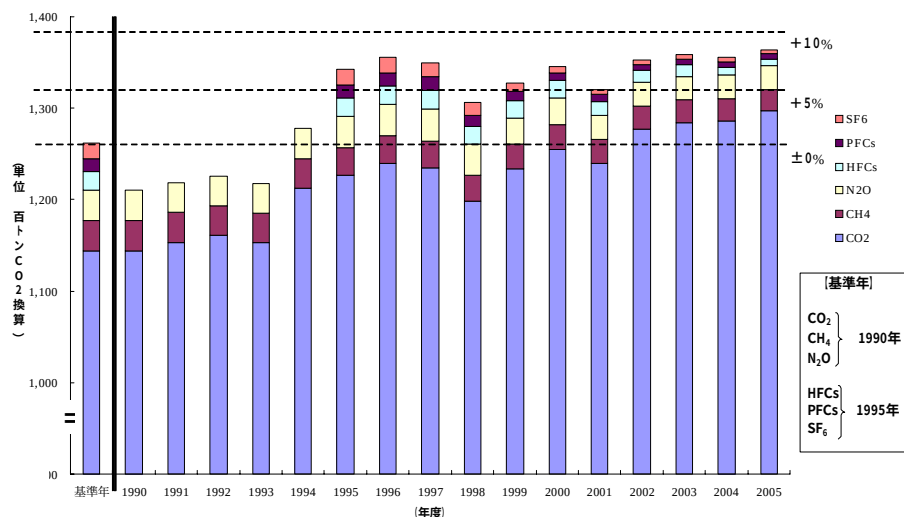


温室効果ガス排出量の動向に係る関連データ

1) 温室効果ガス排出量の推移

温室効果ガス排出量の推移は下図のとおり（1990 年～1994 年には HFC 等 3 ガスが含まれていないことに注意が必要。）。1995 年以降、エネルギー起源二酸化炭素は増加傾向にあり、それ以外のガスは減少しており、全体として増減を繰り返しつつ、基準年比約 5 %～8 %を推移。



2) 関連指標の状況

京都議定書目標達成計画では、2002 年度をベースに将来推計を実施。その後のマクロフレームの状況をまとめると以下のとおり。

1)人口・労働力人口

人口はほぼ目標達成計画の見込み通り推移。労働力人口は目標達成計画の見込みより 2%程度下回っている。

・ 目標達成計画

年度	2000	2005
総人口（万人）	12,693	12,771
労働力人口（万人）	6,772	6,759

・ 現状

年度	2000	2005
総人口（万人）	12,693	12,777
労働力人口（万人）	6,772	6,654

出典：総人口 平成 17 年度国勢調査
労働力人口 エネルギー・経済統計要覧

2)為替水準

為替水準は、目標達成計画の見込みよりやや低めを推移。

- ・ 目標達成計画 120 円/\$
- ・ 現状 108～122 円/\$ (2002～2005 年度)

出典：為替水準 エネルギー・経済統計要覧

3)エネルギー価格

エネルギー価格は、目標達成計画の見込みを大きく上回って推移。

- ・ 目標達成計画 2000 年度→2010 年度まで安定的に推移
石油：\$ 28/b→\$ 21/b LNG：\$ 252/t→\$ 179/t 石炭：\$ 35/t→\$ 39/t
- ・ 現状 2000 年度→2005 年度
石油：\$ 28/b→\$ 56/b LNG：\$ 252/t→\$ 330/t 石炭：\$ 35/t→\$ 64/t

出典：エネルギー価格 エネルギー・経済統計要覧

4)GDP

GDP は、2002 年～2004 年までは目標達成計画の見込みとほぼ同程度、2005 年は見込みと比べて 1%弱プラス成長。

- ・ 目標達成計画

年度	2002	2003	2004	2005
実質GDP成長率(%)	0.8	1.9	2.1	1.6

- ・ 現状

年度	2002	2003	2004	2005
実質GDP成長率(%)	1.1	2.1	2.0	2.4

出典：GDP 成長率 エネルギー・経済統計要覧